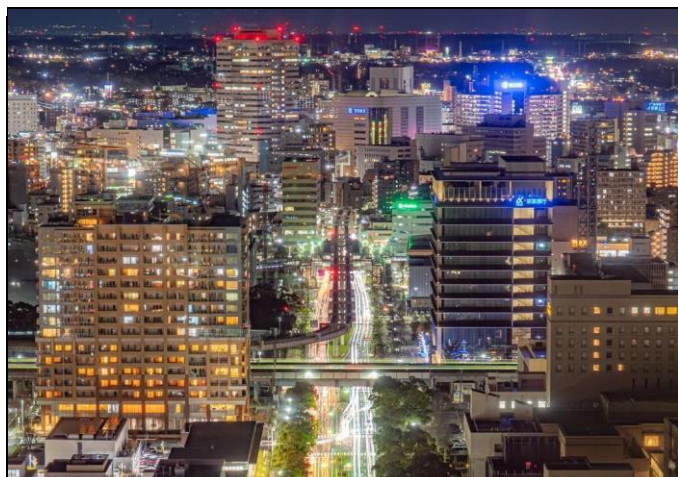




分野7

都市・交通

分野目標：市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します

政策体系

7－1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める

- 7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進
- 7-1-2 3都心などの魅力向上
- 7-1-3 地域資源の発掘・活用
- 7-1-4 広域連携の深化

7－2 都市の力を底上げするネットワークを整備する

- 7-2-1 持続可能な交通ネットワークの形成
- 7-2-2 道路ネットワークの形成
- 7-2-3 安全・安心な移動環境の整備

7－3 まちの発展にテクノロジーを活かす

- 7-3-1 スマートシティの推進
- 7-3-2 新しい技術・しくみの社会実装の加速化

7－4 暮らしを支える基盤を創る

- 7-4-1 住環境・生活基盤の充実
- 7-4-2 持続可能な上下水道事業の推進

【関連する SDGs の目標】



ウォーカブル（千葉公園通りのダンス）

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
居住促進区域 ^{P194} 内の人口密度	人/ha	90	90 以上
都心部（幕張新都心）の日々活動人口	千人/日	190	230
JR 千葉駅乗車人数	人/日	86,911	108,000
千葉市に都市アイデンティティ ^{P202} がある と思う人の割合	%	57.0	59.0

7-1-1

美しく心地よいまちづくりの推進

施策の展開

- 人口減少や少子高齢化が進む局面においても、変化への対応を図りつつ、充実した都市機能の集積とゆとりある空間、豊かな緑と水辺及び都市の利便さが共存する千葉市を未来に引き継ぎ、市民がまちへの誇りや愛着、共感をもち、まちづくりに積極的に関わろうとする気持ちを育むことが重要です。
- このため、都市づくりの指針となる都市計画マスタープラン等について、社会情勢の変化等に対応する必要な見直しを行うとともに、マスタープラン等で示す地域が目指すまちづくりの目標を実現するため、景観や都市環境などから見た都市デザイン^{P202}の調整を推進します。
- 人口減少により顕在化する空き家・空き地を有効に活用し、安全で安心な住環境の構築を推進します。
- 良好な居住環境の形成を図るため、寒川第一、検見川・稲毛、東幕張地区の土地区画整理事業を推進するとともに、長期にわたり事業化されていない土地区画整理事業の未施行地区については、各地区の実情に合わせた整備手法の検討を進めます。
- まちの良好な景観を確保するため、大径木化、老木化した街路樹の植栽環境の適正化を進めます。

計画事業

人口減少抑制に向けた取組みの推進【新規】		政策企画課	
地域活性化を進めるため、転入促進に係る P R 動画の制作等、人口減少抑制に向けた取組みを推進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
人口減少抑制（自然増、社会増） のための政策立案に向けた 調査・分析	—	調査・分析 調査結果に基づく事業実施	調査・分析 調査結果に基づく事業実施
転入促進に係る情報発信	検討	動画制作・配信	動画制作・配信

都市計画マスタープラン等の見直し		都市政策課	
長期的な都市づくりの指針である都市計画マスタープラン等について、都市計画基礎調査の結果や社会情勢等の変化に対応するため、同基礎調査の分析や見直しの対応方針を策定し、必要となる見直しを行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
都市計画基礎調査	基礎調査	基礎調査データ分析	基礎調査データ分析
都市計画見直し基本方針の策定	－	見直し基本方針の策定	見直し基本方針の策定
都市計画区域マスタープラン、 都市計画マスタープラン、 立地適正化計画の見直し	－	都市計画マスタープラン等の 見直し	都市計画マスタープラン等の 見直し

良好な都市景観の形成		都市政策課	
良好な景観資源を保全・活用していくため、建築物等の新築等の行為に係る景観形成基準を定め、景観形成の指導・誘導を行うとともに、景観形成に関する市民の意識向上を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
景観法に基づく届出の適切な指導・誘導	実施	継続	実施
都市文化賞の実施、周知イベントの開催	都市文化賞 １回/年	都市文化賞 １回/年 パネル展示会 １回/年	都市文化賞 １回/年 パネル展示会 １回/年

都市デザイン調整の推進		都市政策課	
都市計画マスタープランなどで示すまちづくりの目標を実現するため、官民の事業を対象に計画段階から協議・配慮を求める都市デザイン ^{P202} の調整を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
協議制度の運用	－	運用	運用

空き家・空き地対策の推進		都市安全課		
空き家、空き地が有効に活用され、安全で安心な住環境を整えるため、空き家の発生予防や有効活用に関する情報提供を行うとともに、管理不全の空き家・空き地に対する所有者等への指導等を実施します。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
空き家・空き地の有効活用	空き家セミナー・相談会	開催 ３回/年	継続	開催 ３回/年
	空家等情報提供制度	実施	継続	実施
	空き地バンク ^{P191}	－	実施	実施
管理不全空き家・空き地の解消		指導書等の送付 所有者訪問指導	継続	指導書等の送付 所有者訪問指導
空家等対策計画の見直し		検討	見直し	見直し

適切な土地利用を誘導するための基礎調査		都市計画課	
社会情勢の変化に応じた適切な土地利用の規制・誘導を図るため、土地利用の現状や動向などを把握する基礎的調査を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
土地利用現況調査	土地利用誘導方針(案)の作成	実施	実施
地区計画 ^{P200} 見直し検討調査	—	実施	実施

寒川第一土地区画整理		寒川土地区画整理事務所	
良好な居住環境の形成を図るため、建物移転や道路・下水道施設等の公共施設の整備を進めます。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
都市計画道路築造	新田町村田町線	新田町村田町線	新田町村田町線
	L=245.3m	L=296.9m	L=542.2m
	港町寒川町線	港町寒川町線	港町寒川町線
	L=344.5m	L=224.7m	L=569.2m

検見川・稲毛土地区画整理		検見川・稲毛土地区画整理事務所	
良好な居住環境の形成を図るため、建物移転や道路・下水道施設等の公共施設の整備を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
区画道路整備	L=13,903m	L=1,531m	L=15,434m

東幕張土地区画整理		東幕張土地区画整理事務所	
JR 幕張駅利用者の利便性向上や、地域全体の活性化及び良好な住環境の形成を図るため、建物移転や、道路・下水道施設等の公共施設の整備を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
区画道路整備	L=3,963m	L=655m	L=4,618m

土地区画整理事業未施行地区の見直し		市街地整備課	
社会情勢や周辺状況等の変化に対応するため、長期にわたり事業化されていない土地区画整理事業の未施行地区について、各地区の実情に合わせた整備手法の検討を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
見直しに向けた地元説明及び都市計画手続	検討	地元説明 実施 都市計画手続 実施	地元説明 実施 都市計画手続 実施

街路樹植栽環境の適正化		公園管理課	
良好な街並みの景観形成を図るため、大径木化、老木化した街路樹の植栽環境の適正化を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
危険木・支障木の伐採及び間伐	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
特定空家等 ^{P201} の件数	件	102	50
地区計画 ^{P200} の策定・変更数	件	策定 59 変更 33	策定 61 変更 34
区画整理事業の宅地整備面積	ha	40.5	47.8

施策の展開

- 千葉都心では、千葉駅西口地区及び東口地区における再開発事業が完了するとともに、民間開発計画が進められている等、まち全体でのリニューアルの動きが活発化しています。引き続き、これらの開発動向や周辺環境の変化を的確に把握するとともに、千葉都心全体の将来像を描いた「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」に基づき、千葉都心の魅力をさらに高めるまちづくりを進めています。
- 千葉都心における活性化の核となる事業として、中央公園・通町公園周辺の活性化や西銀座周辺の再開発を促進するほか、官民の連携による、居心地の良く歩きたくなるまちなかの形成や、リノベーションまちづくり^{P206}の推進によりエリアの価値向上に向けた取組みを推進するとともに、まちづくりを支える人材を育成します。また、千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、公園全体の再整備を行います。
- 「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市として発展を遂げてきた幕張新都心では、中長期的な将来を見据えた「幕張新都心まちづくり将来構想」を策定しました。今後は多様な関係者とまちづくりの方向性を共有し、連携・協働の好循環により取組みを推進します。
- 幕張新都心のさらなる魅力向上に向けて、国家戦略特区^{P196}制度を活用し、ドローン^{P202}の実用化に向けた取組みや多様な分野でのドローンによるビジネスモデルの創出を支援します。また、都市の回遊性向上による賑わい創出のため、自動運転モビリティ^{P197}などの未来技術の実証を推進するとともに、多様な関係者が連携・協働してまちづくりを進めるエリアマネジメント^{P192}組織を組成・育成するほか、若葉住宅地区における住宅や周辺環境の整備を促進します。
- 蘇我副都心については、J R蘇我駅が京葉線、内房線・外房線の結節点であるとともに、商業機能が集積し、また、その立地特性を活かしアーバンスポーツ^{P191}の競技会や音楽イベントの開催地となる等、副都心として相応しいまちづくりを進めています。
- 蘇我副都心における交通結節点としての機能を高めるため、市街地再開発による蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一体的な再編を進めます。

計画事業

中央公園・通町公園の連結強化

都心整備課

歴史的資産を活かした「千葉らしさ」を感じるまちづくりのため、中央公園、通町公園、千葉神社を一体的に捉え、賑わいと回遊性を高める空間の整備を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
用地取得	対象街区の一部取得	実施	実施
公園整備	公園整備計画修正	段階整備	段階整備

千葉駅周辺における官民連携まちづくり（ウォーカブル推進）

都心整備課

千葉駅周辺において、多様な魅力あるまちづくりを実現させるため、道路や公園等の公共空間や民地などのオープンスペースを一体的に活用し、多様な人が多様な使い方のできる「居心地の良い空間づくり」を推進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
千葉駅西エリアウォーカブル ^{P192} 推進 (千葉駅西口駅前ほか)	社会実験（民間主体）	継続	社会実験（民間主体）
千葉駅北エリアウォーカブル推進 (千葉公園通り)	社会実験（民間主体）	社会実験（民間主体） 道路改修	社会実験（民間主体） 道路改修
千葉駅東エリアウォーカブル推進 (千葉駅前大通りほか)	社会実験（民間主体）	継続	社会実験（民間主体）

千葉駅周辺における官民連携まちづくり（リノベーションまちづくり）			都心整備課
千葉駅周辺において、エリアの価値向上や複合的な地域課題の解決を図るため、官民が連携し、遊休不動産等の既存資源を活用した事業創造やまちづくり人材の育成等を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
(仮称)リノベーションまちづくり ^{P206} 構想の策定	—	策定	策定
リノベーションスクール	実施	継続	実施
プレイヤー発掘・育成、活用支援制度の整備	実施	継続	実施

千葉駅東エリア（西銀座周辺）の再開発			都心整備課
千葉駅から中心市街地に賑わいを誘引するため、千葉駅東エリア（西銀座周辺）における再開発を促進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
再開発の検討促進	実施	継続	実施
市道富士見14号線の道路改修	—	基本設計 実施設計 道路改修	基本設計 実施設計 道路改修

千葉駅東口西銀座B地区優良建築物等整備事業			市街地整備課
県都の玄関口に相応しい賑わいの創出や公共公益的空間を確保するため、優良建築物等整備事業を活用し、公共貢献に応じた支援を行うことにより、千葉駅周辺の活性化グランドデザインに沿う民間建築物の建替更新を誘導します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
優良建築物における共同施設整備費助成	助成	継続	助成 建築物整備完了

千葉公園の再整備【再掲】			緑政課
千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、再整備を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
賑わいエリア整備	—	整備	供用開始
やすらぎゾーン整備	—	整備	供用開始
水辺ゾーン整備	—	整備	整備

新市民会館の整備【再掲・新規】			文化振興課
市民の多様な文化芸術のニーズに対応するため、千葉市の文化芸術の中心施設となる市民会館を再整備します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
新市民会館の再整備	基本設計	工事	工事

オオガハスの魅力発信【再掲】			緑政課	
オオガハス ^{P192} を活かしたまちづくりを進めるため、イベントの充実及び情報発信の強化を図るとともに、千葉公園を系統保存管理の拠点とし、市内の展示場所の整備及び栽培管理の人材育成を行います。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
イベントの 充実	大賀ハスマつり YohaS	開催	継続	開催
	サイン設置	—	千葉公園通りに設置	千葉公園通りに設置
情報発信の強化		蓮華亭リニューアル	PRアクションプラン策定 ゆかり地、分根追跡調査	PRアクションプラン策定 ゆかり地、分根追跡調査
観賞環境の 整備	系統保存維持管理	系統保存維持管理	継続	系統保存維持管理
	プランター展示	7 か所	1 か所増	8 か所
	学校分根	42 校	15 校増	57 校
	ハス守さん ^{P204} 講座	53 人	30 人増	83 人
	ハス守さん フォローアップ講座	—	10 名	10 名
	文化伝承事業	—	実施	実施
	コンパクトな拠点	—	整備	整備

千葉市蘇我スポーツ公園の充実【再掲】			公園管理課	
市民のスポーツやレクリエーション活動の拠点として適切な管理運営を行うため、長寿命化計画を策定するとともに、フクダ電子アリーナの音響施設や運動施設等の改修を行います。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
長寿命化計画の策定		－	策定	策定
フクダ電子アリーナの充実		照明設備改修、 音響設備改修（実施設計）	音響設備改修	音響設備改修完了
魅力向上	ヒルスコート （テニスコート）	人工芝張替 10 面	人工芝張替 10 面	人工芝張替 20 面
	スクエア （人工芝広場）	－	防球ネット改修	防球ネット改修
	ランニングコース	－	舗装改修	舗装改修
	バックヤード	－	倉庫設置	倉庫設置

幕張新都心まちづくり連携促進		幕張新都心課	
幕張新都心で活動する多様な関係者が連携・協働してまちづくりを進めるため、エリアマネジメント ^{P192} 組織を組成・育成するとともに、まちづくりに関する機運を醸成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
エリアマネジメントの促進	企業・団体等との意見交換	企業・団体等との意見交換 エリアマネジメント組織の 立ち上げ	エリアマネジメント組織の 立ち上げ
まちづくり機運醸成	イベント実施	継続	イベント実施

国家戦略特区 ^{P196} 制度の活用推進【再掲】			国家戦略特区推進課
地域経済の活性化を図るため、規制改革等を総合的かつ集中的に推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
規制改革メニューの活用	８件	３件増	１１件
規制改革の提案	４件	３件増	７件

ドローン宅配等の実用化の推進【再掲】			国家戦略特区推進課
ドローン ^{P202} 活用による市民の利便性向上と、先端技術産業の集積を促進するため、ドローン宅配の実用化や、多分野でのドローンによるビジネスモデルの創出を支援します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
ドローン宅配実装支援	飛行環境の実証	実装	実装
ドローン活用推進	行政課題型 1 件/年	行政課題型 1 件/年増	行政課題型 2 件/年
	民間支援型 2 件/年	民間支援型 1 件/年増	民間支援型 3 件/年
操縦ライセンス取得支援	－	補助 5 件/年	補助 5 件/年

若葉住宅地区における住宅整備促進		幕張新都心課	
住宅・商業をはじめとした複合機能を備えた賑わい溢れる街を実現するため、若葉住宅地区における住宅や周辺環境の整備を促進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
住宅整備の促進	1,464 戸	2,122 戸増	3,586 戸

幕張海浜公園の活性化【再掲・新規】		緑政課	
幕張海浜公園の賑わい創出による更なる活性化を図るため、民間活力の導入による事業を行うとともに、定期的なイベント開催の検討などを行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
民間活力導入	民間事業者の公募検討	民間事業者による 活性化施設整備	民間事業者による 活性化施設整備
イベントの実施	－	民間事業者との連携検討	民間事業者との連携検討

ZOZOマリンスタジアムのあり方検討【再掲】			都市政策課
竣工から 30 年以上が経過した ZOZO マリンスタジアムについて、幕張新都心のまちづくりの視点を踏まえたあり方を定めるため、将来像を示す基本構想や同構想を具体化する基本計画を策定します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
あり方検討	基礎調査	基本構想策定 基本計画策定	基本計画策定

ＪＲ蘇我駅東口駅前地区のまちづくり		市街地整備課	
蘇我副都心の交通結節点としての機能を高めるため、市街地再開発による蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一体的な再編を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
関係者の合意形成	勉強会実施	継続	勉強会実施
駅前広場基本計画（修正）策定等	調査	策定	策定

ＪＲ稲毛駅東口駅前地区のまちづくり		市街地整備課	
JR 稲毛駅東口の生活及び公共交通の利便性の向上に向けた都市基盤の整備を図るため、市街地再開発により個別建物の集約化を図るとともに、駅前広場と駅周辺の一体的な整備を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
関係者の合意形成	勉強会実施	継続	勉強会実施
駅前広場基本計画（修正） 策定等	調査	策定	策定

【重要業績評価指標（ＫＰＩ）】

項目名	単位	実績値 令和３年度末	目標値 令和７年度末
幕張新都心年間来訪者数	万人	3,200	4,800
都心部（千葉駅周辺）の歩行者数	千人	119	131
リノベーションスクール関係者等によるプロジェクト創造数	件	91	271

施策の展開

- 千葉市固有の歴史や文化を市民に知ってもらい、郷土への愛着を醸成し、「千葉市らしさ」を確立するとともに、市外からも「訪れたい」、「住みたい」と思ってもらえる都市を目指し、「加曽利貝塚」、「オオガハス^{P192}」、「千葉氏^{P201}」、「海辺」などの地域資源の魅力向上を図り、都市アイデンティティ^{P202}の確立に向けた取組みを進めています。
- 令和8年（2026年）には千葉開府900年^{P200}を迎えることから、この機を捉え、「千葉氏」に関する企画展や史料の調査・発掘調査を実施するとともに、開府900年を記念するイベント等の実施準備を進め、千葉市の魅力を広く発信します。
- また、「オオガハス」への愛着を感じられるような区民参加の取組みや、「加曽利貝塚」等の地域資源への来訪を促す魅力発信の取組み、「海辺」の賑わい創出による活性化の取組み等を行います。

計画事業

都市アイデンティティの確立

都市アイデンティティ推進課

市民の愛着や誇りを醸成し、千葉市固有の「千葉市らしさ」を意味する「都市アイデンティティ」を確立するため、「加曽利貝塚」、「オオガハス」、「千葉氏」、「海辺」の4つの地域資源を活用したプロモーションを行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
4 資源の魅力ある新規コンテンツづくり	千葉氏グルメの提供	団体・企業等との連携 事業化支援	団体・企業等との連携 事業化支援
「千葉市らしさ」のプロモーション	4 資源特設サイトの制作 紙芝居の制作	実施	実施

千葉開府900年記念に向けた実施体制の構築【新規】

都市アイデンティティ推進課

令和8年（2026年）の千葉開府900年に向け、各団体や民間企業等と連携協力して実施体制を構築し、記念事業の準備を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
実行組織の立ち上げ及び計画の策定	ロードマップ策定	実施体制の構築 計画策定	実施体制の構築 計画策定
千葉開府900年記念事業の実施	—	記念事業準備 プレ期間事業実施	記念事業準備 プレ期間事業実施
千葉氏サミットの開催、ゆかりの都市との連携・交流	実施	継続	実施

千葉氏に関する企画展の実施及び調査研究の推進		文化財課、郷土博物館 埋蔵文化財調査センター	
千葉氏 ^{P201} について市民の興味関心を高めるため、魅力的な企画展を計画的に開催します。また、千葉氏に関する研究を深めるため、史料の調査や発掘調査を実施します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
千葉氏に関する企画展の実施	1 回/年	継続	1 回/年
千葉氏に関する史料の調査	調査	史料集の刊行	史料集の刊行
千葉氏関連遺跡等の発掘調査の実施	試掘・資料調査	発掘調査・整理 報告書（概要版）刊行	報告書（概要版）刊行

オオガハスを身近に感じるまちづくり		花見川区地域づくり支援課	
オオガハス ^{P192} に愛着を感じられるよう、花見川区役所に展示物を配置するなど、区民がオオガハスに接する機会を増やします。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
花見川保健福祉センター ロビーガラスの装飾	—	実施	実施
オオガハス折り紙の作成	—	1,080 人参加	1,080 人参加
オオガハスオブジェ展示	—	実施	実施

若葉区の魅力創出・発信（市民参加型体験イベント等の実施）		若葉区地域づくり支援課	
加曽利貝塚等、若葉区内の地域資源への来訪者の増加を図るため、区内を巡る循環型イベントや、地域資源に関する情報発信を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
市民参加型体験イベントの実施	２回/年	継続	２回/年
地域資源に関する情報発信	実施	継続	実施

地域資源の活用などによる郷土教育の充実【再掲】		教育指導課	
児童生徒が自分たちの暮らす郷土に誇りや愛着を持てるようにするため、地域資源を扱うなど、副読本を改定します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
副読本の改訂	実施	継続	実施
千葉開府 900 年 ^{P200} に向けた 機運醸成	実施	継続	実施

特別史跡加曽利貝塚の魅力向上（史跡の整備）【再掲】			文化財課、道路計画課	
来訪者の安全性及び利便性の向上を図るため、特別史跡 ^{P202} 加曽利貝塚の史跡の整備を進めます。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
史跡整備（第１期・第２期）		第１期整備	第１期整備完了 第２期（基本計画、 基本設計）	第１期整備完了 第２期（基本設計）
周辺道路等整備	源町桜木線	調査・設計	用地取得	用地取得
	史跡周辺道路	調査・設計	道路整備 L=650m	道路整備 L=650m

特別史跡加曽利貝塚の魅力向上（集客力の向上）【再掲】		文化財課、加曽利貝塚博物館		
特別史跡 ^{P202} 加曽利貝塚の魅力と集客力の向上を図るため、いつでも縄文体験を楽しめる環境を整え、幅広い年代が気軽に楽しめるイベントを開催します。また、発掘 100 年を記念し、令和 6 年度（2024 年）にシンポジウムを開催します。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
体験型イベント		116 回/年	継続	116 回/年
野外イベント	縄文春・秋まつり	1 回/年	継続	1 回/年
	自然観察会	2 回/年	継続	2 回/年
縄文 PR イベント	市遺跡発表会	1 回/年	継続	1 回/年
	縄文シティサミット	—	1 回参加/年	1 回参加/年
	発掘 100 年シンポジウム	—	開催	開催

特別史跡加曽利貝塚新博物館の整備【再掲】		文化財課、道路計画課	
縄文文化の研究とその成果を市民等に発信する拠点とするため、史跡のガイダンス機能等を備えた新たな博物館の整備を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
用地の確保	協議・調整 埋蔵文化財調査	取得・賃貸借 埋蔵文化財調査	取得・賃貸借 埋蔵文化財調査
新博物館の整備	要求水準書等作成	事業者選定、基本設計 実施設計、工事	工事
周辺環境の整備	協議・調整	詳細設計 用地取得	詳細設計 用地取得

縄文文化調査研究の推進【再掲】		文化財課、埋蔵文化財調査センター	
縄文文化と貝塚を解明することで加曽利貝塚のさらなる価値や魅力向上を図るため、発掘調査・研究を進めるとともに、その成果を広く発信します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
発掘調査・現地説明会	実施	継続	実施
出土資料整理・調査研究	実施	継続	実施

郷土博物館の展示の充実【再掲】		郷土博物館	
千葉開府 900 年 ^{P200} に向けて、千葉氏 ^{P201} をはじめとする郷土の歴史を学ぶことができる拠点とするため、郷土博物館の展示をリニューアルします。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
展示リニューアル	調査・検討	供用開始	供用開始

海辺の活性化【再掲】		緑政課	
海辺の活性化を推進するため、稲毛海浜公園検見川地区において、賑わいを創出する施設の導入を検討するとともに、市民と協働でイベントを実施します。また、県立幕張海浜公園へのにぎわい施設導入やイベント開催など、関係機関等と連携し、幕張の浜の利活用を進めます。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
稲毛海浜公園検見川地区の活性化	調査、協議・調整	事業者決定 イベント実施	イベント実施
県立幕張海浜公園における海辺の利活用	協議・調整	賑わい施設導入 イベントの開催	賑わい施設導入 イベントの開催

稲毛海浜公園のリニューアル【再掲】			緑政課	
海辺の賑わいを創出するため、民間活力を導入して稲毛海浜公園のリニューアルを進めます。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
民間事業者 による施設 リニューアル	花の美術館	一部実施	改修	供用開始
	温浴施設	—	整備	供用開始
	グランピング ^{P195} 施設	—	整備	供用開始
	稲毛記念館	—	改修	改修

千葉中央港地区まちづくりの推進【再掲】			交通政策課	
賑わいや憩いのある港づくりのため、「さんばしひろば」にベンチや電気・音響設備等を整備するとともに、イベントの開催や更なるさん橋の活用を推進します。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
施設整備	防犯カメラ	３台	１台増	４台
	バナー看板	イベント開催時設置	継続	イベント開催時設置
	ベンチ	－	整備	整備
	電気・音響設備	－	整備	整備
イベント・旅客船事業促進		補助金交付	継続	補助金交付

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
稲毛海浜公園利用者数(有料施設)	千人/年	618	627
博物館の入館者数（再掲）	人/年	96,772	110,000
オオガハス ^{P192} 関連イベント来場者数（再掲）	人/年	15,900	30,000
アイデンティティの醸成につながる郷土教育の実施率	%	88.0	100.0

施策の展開

- 高い交通利便性や拠点性を有する千葉市は、しごと、学び、癒しやスポーツの場として圏域^{P195}内で大きな役割を担っています。また、人口構造の変化や新型コロナウイルス感染症の影響等により、人々の暮らし方が多様化していく中、圏域全体の活力を維持するためには、それぞれの地域の特性を活かしながら、地域を越えて連携する必要性が増しています。
- これまでも、子育てや経済・観光分野などで周辺自治体との連携を進めてきたところであり、この成果を踏まえつつ、公共施設の相互利用について検討を進めるなど、千葉市とのつながりの深い周辺自治体との連携を強化します。

計画事業

ちば共創都市圏^{P201}における広域連携

政策調整課

千葉市とのつながりの深い周辺都市を含む圏域ならではの新たなライフスタイルを提案し、圏域全体としての活性化を図るため、周辺自治体との連携強化に係る取組みを推進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
周辺自治体との連携強化	協議会・WGの実施	継続	協議会・WGの実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
周辺自治体との連携事業数	事業	17	21

7-2

都市の力を底上げするネットワークを整備する

【関連する SDGs の目標】



グリーンスローモビリティ

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
公共交通機関の乗車人数	千人/日	624	800
市内のボトルネック ^{P205} 交差点における混雑箇所の割合	%	52.5	47.5

7-2-1

持続可能な公共交通ネットワークの形成

施策の展開

- 千葉市には、JR、京成電鉄、千葉都市モノレールや、幹線的なバス路線等で形成される公共交通ネットワークが、市の中心部から各方面に向けて張り巡らされています。これらの公共交通ネットワークは、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少や、公共交通が不便な地域における交通手段の確保などの課題に直面しています。
- そこで、公共交通の利便性を高めるため、シームレス化 ^{P197} を推進するとともに、交通情報のオープンデータ ^{P193} 化などを含めた MaaS ^{P209} を導入するための基盤整備の支援を行うほか、モビリティ・マネジメント ^{P206} を推進し、公共交通に対する市民の理解を深め、利用を促進します。
- また、公共交通が不便な地域における交通ネットワークを維持・確保するため、グリーンスローモビリティ ^{P195} 等の支え合い交通 ^{P197} の導入を進めます。
- さらに、千葉都市モノレールは開業から 30 年が経過し、各施設の老朽化が見受けられることから、安全で快適な交通機関として維持していくため、各施設の設備更新を行うとともに、脱炭素化 ^{P200} に向け再生電力 ^{P193} を活用できる新型車両の導入を支援します。
- 千葉港は、京葉臨海工業地帯の基盤的な港湾として、全国有数の貨物取扱量を誇っており、鉄鋼業や石油業をはじめ、地元で立地する企業にとって必要不可欠な港湾となっています。引き続き、首都圏経済の発展を支える重要な役割を担っていくため、老朽化した岸壁や港湾施設の維持・強化を促進します。

計画事業

公共交通のシームレス化の推進		交通政策課	
公共交通の利便性を高めることで利用を促進するため、交通事業者等関係者との更なる連携強化を図ります。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
公共交通の利用促進等支援の推進	整備促進検討	バス停・ベンチ 7 か所 サイクル&ライド 5 か所 モビリティハブ ^{P206} 整備 1 か所	バス停・ベンチ 7 か所 サイクル&ライド 5 か所 モビリティハブ整備 1 か所
交通事業者間の連携強化	連携策の検討・促進	継続	連携策の検討・促進

MaaS導入に向けた交通事業者への支援		交通政策課	
MaaS ^{P209} 導入に向けた基盤を構築するため、交通情報のオープンデータ ^{P193} 化や、キャッシュレス化に向けた支援を行うとともに、非常時の情報連携システムの構築を検討します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
交通インフラサービスの向上 （情報発信）	オープンデータ化 導入支援	継続	オープンデータ化 導入支援
交通インフラサービスの向上 （基盤整備）	検討	キャッシュレス化 対応支援	キャッシュレス化 対応支援
非常時の情報連携体制の強化	－	検討	検討

モビリティ・マネジメントの推進【新規】		交通政策課	
公共交通に対する市民の理解を深め、利用促進するため、学校教育でモビリティ・マネジメント ^{P206} のカリキュラムを取り入れるとともに、モノレール沿線での普及啓発イベントを実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
職場モビリティ・マネジメント	－	アンケート、研修、 ワークショップ	アンケート、研修、 ワークショップ
学校教育モビリティ・マネジメント	－	授業実施	授業実施
公共交通普及・啓発イベント	－	実施	実施

支え合い交通の実現		交通政策課	
既存の公共交通ネットワークではカバーすることが困難な地域等において、持続可能な交通ネットワークを構築するため、グリーンスローモビリティ ^{P195} 等の支え合い交通 ^{P197} の導入に向けた社会実験を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
グリーンスローモビリティの導入	２台	３台増	５台
支え合い交通導入に向けた社会実験	導入検討	社会実験 本格運行	本格運行

モノレール施設の脱炭素化及びグリーンインフラ ^{P195} の推進		交通政策課	
モノレールの脱炭素化 ^{P200} を実現するため、回生電力 ^{P193} を有効活用できる新型車両の導入支援等を実施します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
回生車両への更新	－	2 編成更新	2 編成更新

モノレール施設の設備更新		交通政策課	
モノレールの安全な運行及び利便性の向上のため、施設の設備更新を計画的に進めるとともに、適切に資産管理していくため、資産等管理システムを構築します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
インフラ外施設更新	更新・改良	継続	更新・改良
資産等管理システムの構築、運用	基本設計	運用	運用

時代の要請に応じた公共交通の展開【新規】		交通政策課	
公共交通利用者の需要変化を踏まえた利便性の向上を図るため、駅舎等の余剰空間を活用した環境整備の検討などを行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
駅舎等施設の余剰空間の活用	—	検討 施設整備 1 か所	検討 施設整備 1 か所
ダイナミックプライシング ^{P200} の導入検討	検討	継続	検討

広域間輸送ネットワークの形成		交通政策課	
千葉市と他主要都市や空港等を結ぶ広域間の公共交通ネットワークを形成するため、京葉線とりんかい線の相互直通運転化を促進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
京葉線とりんかい線の相互直通運転の促進	鉄道事業者等との協議・調整 要望活動の実施	継続	鉄道事業者等との協議・調整 要望活動の実施

港湾・物流機能の強化の促進		交通政策課	
港湾・物流機能の強化を促進するため、港湾施設の整備、改修等に要する費用を負担します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
千葉港千葉中央地区港湾施設の整備	岸壁・物揚場等整備 小規模な緑地整備等	継続	岸壁・物揚場等整備 小規模な緑地整備等

先端技術を活用したモビリティサービスの実現【再掲】		国家戦略特区推進課	
都市の回遊性向上による賑わい創出のため、新たなモビリティサービスの実装を支援します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
自動運転車サービスの導入促進	実証	自動運転レベル ^{P197} ４実証 インフラ整備	自動運転レベル４実証 インフラ整備
マイクロモビリティ ^{P206} を活用したビジネスモデルの構築	実証	サービスの提供	サービスの提供
幕張新都心版 MaaS ^{P209} の実現	実証	サービスの提供	サービスの提供

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
外出時の移動手段で公共交通等を最も利用する市民の割合	%	34.8	40.0
千葉中央港地区旅客船利用者数	人	24,157	35,000

施策の展開

- 千葉市の幹線道路網は、千葉都心部を中心とした放射・環状道路で構成されていますが、主要幹線道路を中心に交通渋滞が発生し、都市・経済活動に影響を及ぼしています。
- このため、人と物が円滑に移動・交流できる円滑な道路ネットワークの構築に向け、地域間の連携を強化する広域的な道路ネットワークを整備するとともに、地域のまちづくりの観点から、市内ネットワークの形成を図る道路整備を着実に進めるほか、交通の整流化を図る交差点の改良を行います。
- また、社会状況の変化に対応するため、長期未整備となっている都市計画道路等の見直しを検討します。

計画事業

広域ネットワークを構築する道路整備		道路計画課	
近隣都市との連携強化及び物流・観光など社会・経済活動を支えるため、広域ネットワークの道路を整備します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
検見川・真砂スマート IC の整備	調査・検討	道路整備 L=400m	道路整備 L=400m
新たな湾岸道路の整備	千葉県湾岸地区道路検討会による基本方針策定	調査・検討	調査・検討
国道の整備（直轄事業負担金）	国事業への負担金拠出	継続	国事業への負担金拠出
主要地方道生実本納線の整備（ほか 7 路線）	L=1,607m	L=2,273 m	L=3,880 m

市内ネットワークを構築する道路整備		道路計画課	
市内拠点間を連絡し、市民生活の利便性向上や物流の効率化を図るため、市内ネットワークの道路を整備します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
誉田駅前線の整備（ほか 15 路線）	L=3,230 m	L=345 m	L=3,575 m

交差点の改良		道路計画課	
交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交通の整流化を図る交差点改良を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
調査・設計	8 か所 (令和 4 年度事業量)	9 か所	9 か所
用地取得	1 か所 (令和 4 年度事業量)	8 か所	8 か所
整備	—	3 か所	3 か所

都市施設の見直し		都市計画課	
社会状況の変化に対応し、有効な都市施設 ^{P202} を整備するため、長期にわたって未整備となっている都市施設の見直しを検討します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
都市計画道路の見直し	—	都市計画の変更・決定	都市計画の変更・決定
都市施設の見直し	—	都市計画の変更・決定	都市計画の変更・決定

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和３年度末	目標値 令和７年度末
都市計画道路の整備率	%	75.4	75.7

施策の展開

- ノーマライゼーション^{P203}の理念のもと、「共生社会」の実現に向けて、誰もが安全に安心して円滑に移動できることは、市民がいきいきとした暮らしを送るうえで必要です。
- 改正バリアフリー法の趣旨を踏まえ、全面的なバリアフリー化の促進に向けた千葉市の方針を示すとともに、市全域のバリアフリー化を促進するため、令和3年（2021年）3月に千葉市バリアフリーマスタープランを策定しました。
- 高齢者や障害のある人など、あらゆる人の移動の円滑化を図るため、鉄道事業者等が行うバリアフリー化や、バス事業者のノンステップバス導入を促進するとともに、歩道のバリアフリー化を行うほか、狭い生活道路を安全で通行しやすい道路環境に改善します。
- 利用者にとって安全・安心かつ快適な移動を確保するため、生活に密着した道路環境の改善を図ります。
- 環境にやさしく健康にも良い自転車を楽しく安全に、自発的に利用する千葉市らしい生活スタイル「ちばチャリストイル」を実現するため、自転車を活用したまちづくりを総合的に推進します。

計画事業

バリアフリー化の推進及び促進		交通政策課	
高齢者、障害者等の移動の円滑化を図るため、鉄道事業者等が行うバリアフリー整備に対する助成やバス事業者のノンステップバス導入を促進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
鉄道駅等のバリアフリー化	段差解消 29 駅 多機能トイレ設置 29 駅	段差解消 1 駅 多機能トイレ 1 駅	段差解消 30 駅 多機能トイレ 30 駅
ノンステップバスの導入促進	実施	継続	実施
バリアフリーマスタープランの進捗管理・評価及び地区別バリアフリー基本構想の策定検討	地区別基本構想策定 1 地区	地区別基本構想策定 3 地区増	地区別基本構想策定 4 地区

歩道の改良		土木保全課	
歩道を利用するすべての人が安全で快適に通行するため、歩道のバリアフリー化を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
バリアフリー整備	—	視覚障害者誘導用ブロック L=23km 段差解消 N=180 か所	視覚障害者誘導用ブロック L=23km 段差解消 N=180 か所
歩道の再整備 (波打ち歩道の解消)	—	整備	整備

道路施設の長寿命化【再掲】		土木保全課	
道路利用者の安全・安心を確保するため、個別施設計画に基づき、道路施設の計画的な点検・補修を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
道路施設の定期点検	橋梁 55 橋 (令和４年度事業量)	209 橋	209 橋
	歩道橋 13 橋 (令和４年度事業量)	47 橋	47 橋
	舗装 84km (令和４年度事業量)	252km	252km
	のり面・擁壁 74 か所 (令和４年度事業量)	226 か所	226 か所
	道路照明等 2,000 基 (令和４年度事業量)	6,000 基	6,000 基
	道路施設 一式 (令和４年度事業量)	一式	一式
道路施設の補修・更新	橋梁補修 11 橋 (令和４年度事業量)	38 橋	38 橋
	歩道橋補修 4 橋 (令和４年度事業量)	8 橋	8 橋
	モノレールインフラ 施設更新・改良 一式 (令和４年度事業量)	一式	一式
	のり面・擁壁 4 箇所 (令和４年度事業量)	34 か所	34 か所
	道路施設補修 一式 (令和４年度事業量)	一式	一式
個別施設計画の更新	－	4 計画	4 計画

生活道路の整備		道路計画課	
生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、狭あいな生活道路を安全で通行しやすい道路環境に改善します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
調査・設計	6 か所（令和４年度事業量）	11 か所	11 か所
用地取得	6 か所（令和４年度事業量）	10 か所	10 か所
道路整備	3 か所（令和４年度事業量）	13 か所	13 か所 （供用開始 10 か所）

バス停車帯の整備		道路計画課	
バスの停車による交通阻害を解消するため、バス停車帯を整備します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
バス停車帯の整備	—	３か所	３か所

自転車を活用したまちづくりの推進		自転車政策課	
環境にやさしく健康にも良い自転車を楽しく安全に、自発的に利用する千葉市らしい生活スタイル「ちばチャリストایل」を実現するため、自転車を活用したまちづくりを総合的に推進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
自転車の活用と利用促進	—	自転車利活用の拠点設置	自転車利活用の拠点設置
自転車走行環境の整備	76km	38km	114km
放置自転車対策	立体自転車駐車場 10 施設 自転車駐車場等 139 施設	自転車駐車場設備の充実 自転車駐車場再整備・統廃合	自転車駐車場設備の充実 自転車駐車場再整備・統廃合

交通安全に関する普及啓発【再掲】		地域安全課	
交通事故を防止するため、先端技術を活用した啓発等を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
スケアード・スト레이트教育技法 ^{P198} による自転車交通安全教室 の開催	３校/年	２校/年増	５校/年
VR ^{P209} ゴーグル等先端技術 を活用した交通安全推進	—	調査・検討 実施	実施

歩道の整備【再掲】		道路計画課	
歩行者の安全性を確保するため、歩きやすい歩道を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
調査・設計	2 路線（令和 4 年度事業量）	9 路線	9 路線
用地取得	9 路線（令和 4 年度事業量）	10 路線	10 路線
整備	9 路線（令和 4 年度事業量）	12 路線	12 路線 （供用開始 3 路線）

舗装・側溝の新設・改良【再掲】			土木管理課	
道路を安全で快適に通行するため、舗装・側溝を新設及び改良します。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
舗装	新設	1.0km（令和４年度事業量）	2.1km	2.1km
	改良	23.0km（令和４年度事業量）	54.0km	54.0km
側溝	新設	1.0km（令和４年度事業量）	4.2km	4.2km
	改良	約 4.9km（令和４年度事業量）	14.4km	14.4km

橋梁の耐震化・架替【再掲】			土木保全課	
震災時の救命活動や物資輸送のための交通路を確保するため、橋梁の耐震補強を行うとともに、老朽化した橋を架け替えます。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
耐震化	耐震補強	整備完了 137 橋	整備完了 1 橋 工事 1 橋	整備完了 138 橋 工事 1 橋
	耐震レベル 引き上げ	—	設計 2 橋 (メッセ大橋 (上・下))	設計 2 橋 (メッセ大橋 (上・下))
架替	柏井橋	護岸工、仮橋撤去	護岸工	完了
	亥鼻橋	橋梁下部工	橋梁下部工 橋梁上部工	橋梁下部工完了 橋梁上部工

無電柱化の推進【再掲】		土木保全課	
災害に強いまちづくりを推進するため、緊急輸送道路等における電線類の地中化を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
青葉町地区	本体工事、引込連系工事	継続	完了
幕張地区	本体工事、引込連系工事 支障物件移設	本体工事、引込連系工事	完了
椿森地区	—	測量・設計 支障物件移設	測量・設計 支障物件移設

踏切道の改良【再掲】			道路計画課
踏切道における歩行者等の安全性を確保するため、踏切道の改良を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
中広踏切（拡幅）	－	工事	完了
生浜踏切（拡幅）	－	工事	完了
第一鎌取踏切（拡幅）	－	調査・設計、工事	工事
八幡台踏切（待機所の整備）	－	工事	完了
土気踏切（周辺整備）	－	調査設計、用地取得	用地取得

交通安全施設の充実【再掲】			土木保全課	
道路利用者の安全性・快適性の向上及び交通の円滑化を図るため、通学路の路肩カラー化、防護柵等の設置などの交通安全対策を行います。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
通学路の安全対策	路肩のカラー化	116km	30km	146km
	区画線・防護柵等設置		継続	区画線・防護柵等設置
安全施設の設置		整備	継続	整備
区画線引き直し		75km（令和４年度事業量）	225km	225km
駅前広場の改良		一部実施	工事（３か所）	工事（３か所）

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
放置自転車台数	台	746	630
鉄道駅のバリアフリー化率	%	90.3	100.0
駅や公共施設等を結ぶ道路等のバリアフリー化率	%	34	80

7-3

まちの発展にテクノロジーを活かす

【関連する SDGs の目標】



パーソナルモビリティ (ILY-Ai)

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
ICT ^{P208} の普及により生活が便利になったと感じる人の割合 (ICT が生活の利便性に寄与するものだと考えている人の割合)	%	83.0	90.0

7-3-1 スマートシティの推進

施策の展開

- 今後、千葉市も人口減少局面を迎える中、まちづくりや地域経済を支える担い手の不足などをはじめとした様々な課題を解決していくためには、テクノロジーを効果的に活用したスマートシティ^{P199}の推進により、持続可能なまちづくりを進める必要があります。
- 市役所への手続などに要する市民の時間を最小限にし、利便性を高めるため、オンライン手続の利用拡大や「あなたが使える制度お知らせサービス」などの機能性向上、キャッシュレス決済の導入を進めるとともに、市の基幹業務システムについて国が示す標準準拠システムに移行します。
- また、市政の透明性・信頼性と市民生活の利便性の向上を図るため、市保有データをオープンデータ^{P193}として公開し、多様な主体と連携しながらデータの利活用を推進するとともに、各種データ連携やデータベースの整備を進めるほか、庁内の情報通信基盤を更新します。
- さらに、地域課題の解決や新たな価値の創造につながるスマートシティサービスの創出・実装を加速するため、多様な主体の取組みを支援するとともに、すべての市民がデジタル化^{P201}の恩恵を享受できる社会を実現するため、高齢者等のデジタル活用に向けたスマートフォン講座を開催するほか、相談体制の構築を進めます。

計画事業

市役所への手続等のデジタル化の推進		業務改革推進課	
市民の市役所への手続や自身が利用可能な制度の検索などに要する時間を最小限にするため、電子申請システム及び「あなたが使える制度お知らせサービス」などの機能性向上を図ります。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
オンライン手続の利用拡大	状況・課題の把握 解決策の検討	状況・課題の把握 解決策の検討・実施	状況・課題の把握 解決策の実施
あなたが使える制度お知らせサービスの 利用者の満足度向上に向けた 取組み	意向調査	サービスの更新	サービスの更新

キャッシュレス化の推進		業務改革推進課	
市民の利便性向上のため、市施設の各窓口におけるキャッシュレス決済の導入を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
決済機器の導入	81 窓口	52 窓口増	133 窓口
庁内向け導入ガイドラインの更新	ガイドライン作成	実施	実施

地方公共団体情報システムの標準化		情報システム課	
行政のデジタル化 ^{P201} 及び市民の利便性向上を図るため、対象業務について国が示す標準準拠システムに移行します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
標準準拠システムへの移行	全体計画策定	移行	移行

オープンデータ活用の推進		業務改革推進課	
市政の透明性・信頼性と市民生活の利便性の向上を図るため、市保有データをオープンデータ ^{P193} として公開するとともに、民間団体や企業など多様な主体と連携しながらデータの利活用を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
データカタログサイト(システム)の更新	検討	実施	実施
オープンデータを活用した民間サービス等創出の推進	25 件	3 件	28 件

開発許可等情報のデジタル化【新規】		宅地課	
利用者の利便性向上を図るため、開発許可等の情報をオンラインで閲覧できるようにします。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
システムの更新	－	更新	更新

特殊車両通行許可の迅速化		土木管理課	
特殊車両の通行許可申請書の作成に係る時間を短縮し、物流の機動性向上を図るため、道路情報データベースの整備を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
道路情報データベースへの登録	980 区間	120 区間増	1,100 区間

建設工事等におけるデジタル活用の推進		技術管理課	
建設工事、設計業務等の生産性向上を図り、受発注者双方の負担を軽減させるため、デジタル機器の調達及び工事現場等における ICT ^{P208} 活用を促進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
工事現場等における ICT の活用促進	遠隔臨場用 PC2 台 遠隔臨場用タブレット ー	遠隔臨場用タブレット 12 台	遠隔臨場用 PC2 台 遠隔臨場用タブレット 12 台

排水設備工事等におけるデジタル活用の推進【新規】		下水道営業課	
排水設備工事等に係る申請手続の負担軽減及び事務の効率化を図るため、排水設備工事等に係る申請手続のオンライン化を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
排水設備工事等に係る申請手続のオンライン化	窓口による紙面受付	実施	実施

内部事務（財務会計、庶務事務、人事給与等）のデジタル化の推進		業務改革推進課	
内部事務（財務会計、庶務事務、人事給与等）における処理過程における完全なデジタル化 ^{P201} を実現するため、内部事務システム全体でのあるべき姿やデータ連携手法などを示す基本方針を策定します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
内部事務の完全なデジタル化に向けた基本方針の策定	課題の抽出	策定	策定

CHAINSの整備		情報システム課	
デジタル技術を活用した行政事務の効率化及び市民サービスの向上を図るため、庁内の情報通信基盤を更新します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
CHAINS ^{P208} の更新	－	更新	更新

スマートシティサービス実装促進		スマートシティ推進課	
スマートシティ ^{P199} の実現に向けて地域課題の解決や新たな価値の創造につながるサービスの創出・実装を加速するため、民間企業等が行う実証事業に助成するとともに、多様な主体が連携を図るためのプラットフォーム ^{P204} 形成に向けて、市民等への普及啓発を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
スマートシティ実証補助	２件/年	継続	２件/年
スマートシティの認知向上及びまちづくり参加意識の醸成	勉強会（セミナー等）の開催 10 回	継続	勉強会（セミナー等）の開催 10 回
多様なスマートシティサービスの実証・実装の促進	サービス検討・実証	継続	サービス検討・実証

デジタルデバイド ^{P201} 対策		スマートシティ推進課	
すべての市民がデジタル化の恩恵を享受できる社会を実現するため、高齢者等のデジタル活用に向けたスマートフォン講座を開催するとともに、相談体制を構築します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
スマートフォン講座の開催	70 回/年	継続	70 回/年
スマートフォン相談会の開催	15 回/年	9 回/年増	24 回/年

ICTを活用した救急業務の推進【再掲】		救急課	
傷病者を医療機関へ搬送するまでの時間を短縮し、救命率向上を図るため、ICT ^{P208} を活用した効率的で効果的な救急情報システムに更新します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
救急情報共有システムの更新	－	更新	完了

町内自治会のデジタル化推進【再掲・新規】			市民自治推進課	
地域活動の活性化・効率化や若年層などの参画を促すため、町内自治会活動のデジタル化 ^{P201} を支援します。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
デジタル化 支援	出前講座	調査・検討	６か所/年	６か所/年
	研修		１回/年	１回/年
	地域の実情に応じた コンサルティング		モデル実施 ３か所	モデル実施 ３か所
	機器等導入費 助成		24 件	24 件
	アドバイザー派遣		6 件	6 件

ちばレポ（My City Report）による市民協働の推進【再掲】			広報広聴課
市民との協働による地域課題の解決に取り組むため、ちばレポ（My City Report） ^{P201} を運用します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
ちばレポ（My City Report）の運用	運用	継続	運用
ちばレポ教室の開催	４回/年	継続	４回/年
テーマレポート ^{P201} の実施	６回/年	継続	６回/年

美術作品のデジタル化推進【再掲】		文化振興課	
市美術館の魅力を市内外に発信するため、所蔵作品をデジタル化し、ホームページで公開するとともに、様々な機会を捉えて活用します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
作品のデジタル化推進	2,000 作品	6,000 作品増	8,000 作品

MaaS導入に向けた交通事業者への支援【再掲】			交通政策課
MaaS ^{P209} 導入に向けた基盤を構築するため、交通情報のオープンデータ ^{P193} 化や、キャッシュレス化に向けた支援を行うとともに、非常時の情報連携システムの構築を検討します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
交通インフラサービスの向上 （情報発信）	オープンデータ化 導入支援	継続	オープンデータ化 導入支援
交通インフラサービスの向上 （基盤整備）	検討	キャッシュレス化 対応支援	キャッシュレス化 対応支援
非常時の情報連携体制の強化	－	検討	検討

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和３年度末	目標値 令和７年度末
オープンデータ活用事例数	件	24	28
支払いが年間 1,000 件以上ある窓口のうち、キャッシュレスで支払が可能な割合	%	21.5	80.0
オンライン手続可能な件数に対する、実際にオンラインで手続された件数の割合	%	43.0	50.0

施策の展開

- 急速に進展するテクノロジーを活用し、地域課題の解決や新たな価値の創造につなげていくためには、地域における先駆的な取組みを支援し、社会への実装を促進していく必要があります。
- 国家戦略特区^{P196}制度を活用し、ドローン^{P202}の実用化に向けた取組みや、多様な分野でのドローンによるビジネスモデルの創出を支援します。また、都市の回遊性向上による賑わい創出のため、自動運転モビリティ^{P197}などの近未来技術の実証を推進します。

計画事業

ドローン宅配等の実用化の推進			国家戦略特区推進課
ドローン活用による市民の利便性向上と、先端技術産業の集積を促進するため、ドローン宅配の実用化や、多分野でのドローンによるビジネスモデルの創出を支援します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
ドローン宅配実装支援	飛行環境の実証	実装	実装
ドローン活用推進	行政課題型 1 件/年 民間支援型 2 件/年	行政課題型 1 件/年増 民間支援型 1 件/年増	行政課題型 2 件/年 民間支援型 3 件/年
操縦ライセンス取得支援	－	補助 5 件/年	補助 5 件/年

先端技術を活用したモビリティサービスの実現		国家戦略特区推進課	
都市の回遊性向上による賑わい創出のため、新たなモビリティサービスの実装を支援します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
自動運転車サービスの導入促進	実証	自動運転レベル ^{P197} ４実証 インフラ整備	自動運転レベル４実証 インフラ整備
マイクロモビリティ ^{P206} を活用したビジネスモデルの構築	実証	サービスの提供	サービスの提供
幕張新都心版 MaaS ^{P209} の実現	実証	サービスの提供	サービスの提供

国家戦略特区制度の活用推進

国家戦略特区推進課

地域経済の活性化を図るため、規制改革等を総合的かつ集中的に推進します。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
規制改革メニューの活用	8 件	3 件増	11 件
規制改革の提案	4 件	3 件増	7 件

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
未来技術を活用した実証環境の提供件数	件	52	56

7-4

暮らしを支える基盤を創る

【関連する SDGs の目標】



市営住宅

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
居住促進区域 ^{P194} 内の人口密度（再掲）	人/ha	90	90 以上

7-4-1

住環境・生活基盤の充実

施策の展開

- 千葉市はこれまで、一定の期間に特定の世代が流入し、人口増加に伴う住宅等の整備を実施してきたため、開発から 40～50 年が経過した現在、居住者の高齢化とともに、住宅や施設の老朽化が進んでいるほか、分譲マンションにおける担い手不足による管理不全等の問題も顕在化しています。このような中でも、将来にわたって持続可能なまちを実現するには、団地等を適切に維持し、活性化を支援するとともに、公共施設の適正管理を推進し、効率的・効果的に行政サービスを提供できる体制を整える必要があります。
- そこで、住宅団地への若年層の流入を図るため、新婚・子育て世帯の転居費用等を助成するとともに、居住者間の交流を図るため、コワーキングスペース^{P196}等の地域活性化拠点の整備を促進します。また、高齢化が進む花見川団地において、多様な世代が「住みたい」、「住み続けたい」と思える環境をつくるため、団地を拠点とした地域生活圏の活性化の取組みを進めます。さらに、分譲マンションの老朽化や管理の担い手不足に対応するため、管理適正化に向けた居住者主体の取組みを支援します。
- 市営住宅について、脱炭素化^{P200}等の時代の要請にも対応しながら居住環境の改善を図るため、計画的な修繕や再整備を実施します。
- 公共施設について、中長期的な視点から、施設の利用状況を踏まえた複合化や集約化等の効率的な利用を進めるとともに、計画的な施設の保全により、建物の長寿命化や改修費用の最適化を図ります。

計画事業

若年世帯の流入による住宅団地の活性化		住宅政策課	
高経年住宅団地の活性化を図るため、新婚、子育て世帯等が高経年住宅団地に転居する際の費用や、団地活性化に資する施設の整備を支援します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
結婚新生活支援	30 件/年	継続	30 件/年
子育て世帯の住替え支援	－	30 件/年	30 件/年
職住近接の環境整備	－	コワーキングスペース等の整備、賃借	コワーキングスペース等の整備、賃借

花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化の推進		都市政策課	
高経年化した花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化を推進するため、UR 都市機構等と連携し、多様な世代が安心して住み続けられる環境整備、花見川団地商店街の活性化、花見川・花島公園などの地域資源の活用、大学との連携等に取り組みます。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
多様な世代が安心して 住み続けられる環境整備	自動運転バスの 実証実験の実施	団地内移動支援	団地内移動支援
花見川団地商店街の活性化	ワークショップの 実施等	地域コミュニティ活動拠点の 整備・運営	地域コミュニティ活動拠点の 整備・運営
地域資源の活用	花見川、花島公園の アウトドアイベントと 団地商店街イベント の連携実施	花見川サイクリングコースと 団地商店街の連携等	花見川サイクリングコースと 団地商店街の連携等

住宅確保要配慮者への円滑な入居支援		住宅政策課	
住宅確保要配慮者の円滑な賃貸住宅への入居を図るため、民間賃貸住宅の確保や相談体制の充実に取り組みます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
民間賃貸住宅入居支援制度 における物件の確保	実施	継続	実施
居住支援協議会の相談体制 の充実	—	居住支援協議会相談窓口 運営開始	居住支援協議会相談窓口 運営開始
家賃債務保証料の助成	７件/年	継続	７件/年

分譲マンションの管理適正化等の支援		住宅政策課	
分譲マンションの老朽化や入居者の高齢化等による管理不全を防ぐため、管理の適正化に関するアドバイザーの派遣や長期修繕計画の作成、建替えを支援します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
アドバイザー派遣	—	15 管理組合	15 管理組合
長期修繕計画作成支援	—	15 管理組合	15 管理組合
老朽化マンションの再生の促進	2 管理組合	1 管理組合増	3 管理組合

市営住宅の改善			住宅整備課	
市営住宅の長寿命化、バリアフリー化及び脱炭素化 ^{P200} を推進するため、「市営住宅長寿命化・再整備計画」に基づき、改善等を行います。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
長寿命化型改善	防水改善	実施	５団地	５団地
	外壁改善	実施	４団地	４団地
居住性向上型・福祉対応型改善	給水設備	実施	２団地	２団地
	住戸改善	実施	４００戸	４００戸
	住戸内手すり	実施	１５０戸	１５０戸
機能更新・脱炭素化	エレベーター改修	実施	３団地	３団地
	給水ポンプ改修	実施	３団地	３団地
	トップコート塗替	実施	６団地	６団地
	太陽光パネル設置	－	３団地	３団地
	共用部等 LED 化	実施	１３団地	１３団地

市営住宅の再整備		住宅整備課	
市営住宅の居住環境及び周辺住環境の向上を図るため、「市営住宅長寿命化・再整備計画」に基づき、老朽化した市営住宅の除却等を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
耐震性能の劣る住戸及び用途廃止団地等からの移転	実施	千城台第６団地、北河原坂団地移転完了	千城台第６団地、北河原坂団地移転完了
耐震性能の劣る住戸及び用途廃止団地等の解体	実施	北河原坂団地１０戸解体完了	北河原坂団地１０戸解体完了

千葉中央コミュニティセンターの再整備【新規】		資産経営課	
千葉中央コミュニティセンターの老朽化を解消し活性化を図るため、千葉中央コミュニティセンターを再整備します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
建物の再整備	基本設計	設計・工事等	工事
公共・公用としての入居機能の整理	入居機能の決定	各施設の要求水準の決定等	仮移転等完了

住居表示の整備		区政推進課	
住民生活の利便性向上を図るため、住居表示の整備を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
住居表示の実施	－	調査、住居表示実施	住居表示実施

狭あい道路の拡幅		建築指導課、土木管理課	
災害時等における安全性及び良好な住環境の形成を図るため、後退用地等を寄付していただいた場合に、門塀の撤去等に要する費用を助成するとともに、後退用地等に係る道路を整備します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
狭あい道路の拡幅整備	20.2km	2.4km	22.6km

私道の整備助成		土木管理課	
道路利用者の安全と生活環境の向上を図るため、私道の舗装や排水施設の整備に係る費用を助成します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
私道整備の助成	5 件/年	継続	5 件/年

社会教育施設保全計画の策定		生涯学習振興課	
公民館及び図書館施設の計画的な保全及び再整備のため、社会教育施設保全計画を策定します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
社会教育施設保全計画の策定	検討	策定	策定

公共施設の計画的保全		各所管課	
利用者の安全と利便性を確保し、建物の長寿命化を図るため、公共施設の改修を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
劣化度調査・改修方針策定	—	４か所	４か所
実施設計	—	４５か所	４５か所
改修工事	—	６４か所	６４か所

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
居住促進区域 ^{P194} 内の高経年住宅団地の高齢化率	%	36.1	36.1

施策の展開

- 市民が良好な環境で生活を送るには、安定した上下水道サービスの供給が欠かせません。しかし、今後、更新時期を迎える施設等が急増することから、計画的な更新が必要となっています。
- そこで、浄水場等の適切な機能更新と配水管の整備を行うとともに、下水道施設における水処理施設の改築・移設や、排水施設の整備、補修及び改築を実施し、持続可能な水環境づくりを推進します。

計画事業

適切な水道施設の管理（水道施設の更新）

水道事業事務所

持続的に安全・安心な水を提供するため、計画的に浄水場などの施設を更新します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
浄水場等の施設の更新	平川浄水場の更新	平川浄水場の更新 大木戸浄水場の更新	平川浄水場の更新完了 大木戸浄水場の更新

水道管路の整備

水道事業事務所

安全・安心な水を提供するため、水道管路を整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
配水管の整備	—	整備 0.9km	整備 0.9km
	—	舗装復旧 16,811 m ²	舗装復旧 16,811 m ²
	—	実施設計（北谷津町）	実施設計（北谷津町）

下水道施設の再構築

下水道施設建設課

下水道施設の適正な機能を確保するため、中央処理区ポンプ場、中央浄化センター及び印旛処理区ポンプ場における水処理施設の再構築に向けた改築・移設等を行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
中央処理区ポンプ場及び中央浄化センターの再構築	基本設計 水処理躯体改築1か所	水処理施設躯体改築3か所・ 移設3か所・撤去2か所 暫定滞水池改造1か所	水処理施設躯体改築4か所・ 移設3か所・撤去2か所 暫定滞水池改造1か所
印旛処理区ポンプ場の再構築	基本設計	公園撤去、完了	公園撤去、完了

下水道ストックマネジメントの推進		下水道整備課 下水道施設建設課 下水道維持課		
良好な生活環境を守り、持続的に下水道が使用できるようにするため、下水道施設の適切な維持管理及び計画的な改築を行います。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
管渠施設のカメラ調査・点検		1,898km	450km	2,348km
管渠施設の改築	改築工事	30.5km	35.0km	65.5km
	マンホール蓋の更新	5,687 個	2,500 個	8,187 個
処理場（機械・電気設備）の改築		2 か所/年	継続	2 か所/年
ポンプ場等（機械・電気設備）の改築		19 か所	11 か所	30 か所
草の水のみちの護岸改良		984m	177m	1,161m
第 2 期管路施設包括的民間委託の実施方針策定		—	実施方針（第 2 期）策定	実施方針（第 2 期）策定

下水道未普及地域の解消（污水管渠の整備）		下水道整備課	
衛生的で快適な生活環境の実現と、海や河川等の水質保全を図るため、下水道の未普及地区の污水管渠の整備を行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
污水管渠の整備	12,301ha	11ha	12,312ha

排水施設の改築		下水道維持課		
持続的に排水施設を使用できるようにするため、老朽化した一般排水施設等の調査・点検及び計画的な補修・改築工事を行います。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
一般排水施設等の 維持管理・改築	調査・点検	8.7km	70.1km	78.8km
	修繕・改築	—	0.62km	0.62km
	浚渫	2,815 m ³	6,422 m ³	9,237 m ³
都市下水路の 維持管理・改築	鋼矢板護岸	—	201m	201m
	塗装	—	—	—
	修繕・改築	—	1.25km	1.25km

農業集落排水施設の再編整備		下水道整備課	
農村の生活環境を保全するため、農業集落排水の処理場を統合し公共下水道へ接続するとともに、施設等の修繕・更新を行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
農業集落排水施設の再編	施設の再編 1 地区	施設の再編 3 地区	施設の再編 4 地区

下水道の資源・エネルギー利用の推進【再掲】		下水道経営課、下水道施設建設課	
下水道処理施設の温室効果ガス ^{P193} 排出量を削減するため、下水汚泥固形燃料化施設 ^{P195} の整備及び再生可能エネルギー ^{P196} の活用を行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
汚泥燃料化施設の整備	－	燃料化施設 1 基	燃料化施設 1 基
再生可能エネルギーの活用推進	検討	太陽光発電施設整備 下水道地球温暖化防止推進計画策定 バイオマス ^{P204} 利活用技術調査	太陽光発電施設整備 下水道地球温暖化防止推進計画策定 バイオマス利活用技術調査

水道管路の耐震化【再掲】		水道事業事務所	
地震発生時の安定給水を確保するため、水道管路の耐震化を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
管路の耐震化	－	4.5km	4.5km

下水道施設の耐震化【再掲】		下水道整備課、下水道施設建設課	
大規模地震発生時においても、下水道の流下機能や処理機能を確保するため、管渠及び処理場・ポンプ場の耐震化を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
管渠の耐震化	701.0km	59.2km	760.2km
処理場・ポンプ場の耐震化	１か所	５か所	６か所

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
下水道管渠改築率	%	0	57